

Q: (仮称) 金剛山麓野鳥の森公園について

A: 工期を4つに分け、整備を行っており、第1期目の整備が完了し今年度は第2期目の整備予定である。吉田 正議員



五條市における特殊詐欺の現状と今後の対応について

吉田 御存じのように金銭目的の巧妙な手口の不審電話による特殊詐欺事件が発生している。五條市内で発生する特殊詐欺の手口や発生件数について尋ねる。

危機管理監 還付金名目や警察官をかたる手口が増えてきている。五條警察署管内では、平成29年度は2件、被害額450万円、平成30年度は2件、被害額は960万円、今年については5月末現在発生していない。

吉田 今後、ますます高齢化が進む中で、高齢者に限らず、被害に遭わないための防止策の取組を尋ねる。

危機管理監 警察との連携、広報への掲載などを通じて防犯意識を高めるよう啓発活動を行っていく。

吉田 特殊詐欺の勧誘手段は固定電話から波及するものが約7割を占め、留守番電話機能を使うことで被害に遭う確率が下がると聞く。

高齢者等が被害に遭わないようドライブレコーダーのように迷惑電話防止機器購入費の補助金交付の制度の考えはないかを尋ねる。

危機管理監 迷惑電話防止機器の購入助成については、すでに導入済みの他市の状況等を研究したいと考える。

(仮称) 金剛山麓野鳥の森公園について

吉田 現在の状況を尋ねる。

都市整備部長 4つのゾーンに分割して作業道の整備、山林の伐採等を行い、第1期目の整備が完了、今年度第2期目の整備予定である。吉田 担当課における当該用地の現地確認の方法を尋ねる。

都市整備部長 公園の範囲

図面を基に確認を行うが、荒廃箇所もあるため、今後充分な確認、調査を行う。

吉田 近年公園敷地境界付近の荒廃が激しく、境界線付近の田畑の所有者に大変御迷惑をおかけしていると聞く。今後の対処について

尋ねる。

都市整備部長 現在力を入れているゾーン整備とともに境界付近の整備にも力を入れていく。

吉田 (仮称) 金剛山麓野鳥の森公園は観光の拠点ともなり得る場所にある。どう整備するのか、いつまでにするのかをしっかりと計画を立てて行ってほしい。

陸上自衛隊誘致について

吉田 現在の進捗状況は。

危機管理監 調査費200万円が計上された。優先順位1番のプレディアゴルフ地区の陸上自衛隊誘致とともに、消防学校を併設した県防災拠点整備の調査及び地籍調査を行っている。

吉田 誘致成功となれば当然自衛隊員の方々はこの五條市で生活することとなる。誘致活動のための市の生活環境や魅力などを発信するプロモーションビデオ等の作成について尋ねる。

都市整備部長 プロモーションビデオなどの作成につ

いては、現有の観光ビデオや新たに作成する場合の効果を考えて判断したい。

吉田 防衛省へ伺った際、省内で働く奈良県出身の自衛官とお会いし心強く感じました。奈良県民、五條市民にとっても安心、安全につながる陸上自衛隊誘致の今後の展望を市長に尋ねる。

市長 陸上自衛隊駐屯地が来やすい環境を整えるべく、県防災拠点の設置に向けて、県と連携して、業務を進めたいと考える。

学童保育所について

吉田 入所したいが入所できない子供がいると聞くが、その対処について尋ねる。

あんしん福祉部長 3か月連続利用のない方には退所を促し、必要な方に利用できるよう対応している。今後、学校適正化が進む中、空き教室の利用や敷地内への設置等検討していきたい。吉田 安心して子育てや仕事ができる環境整備をお願いします。

Q：学童保育所の土曜日・学校休業日の朝の開始時間を9時から8時に1時間早めることはできないのか

A：利用希望調査等を行いながら前向きに検討してまいりたい。

藤富美恵子議員



学童保育について

藤富 五條市の公立学童保育所の土曜日・学校休業日の保育時間をお尋ねする。

あんしん福祉部長 公立学童保育所5施設の土曜日・学校休業日の保育時間は午前9時から午後5時まで。朝の受入れは午前8時30分から、延長は午後6時30分まで対応している。

藤富 奈良県内12市と橋本市の学童保育所で、朝の開始時間が9時というのは、五條市と宇陀市の2市のみである。午前7時が2市、7時30分が1市、8時が4市、8時30分が4市である。働くお母さんにとって保育開始時間が9時からというのには、会社を遅刻し、同じ職場の人に迷惑をかけ、気兼ねをしながら働いているそうである。また、この保育時間では働きに行けず大変困っているお母さんもいる。

そこで、五條市も土曜日と学校休業日の開始時間を

9時から8時に、1時間早めることはできないのか。

あんしん福祉部長 保護者の方から、朝の受入れ時間をもう少し早くとの声もあり、他市の状況も勘案し、利用希望調査等を行いながら、受入れ対応について前向きに検討してまいりたい。

藤富 五條市の人同士が結婚し、仕事も五條市でありながら大和高田市か橋本市に住む、五條市には住まないという話を聞いた。五條市より子育ての環境が充実しているから、二人で働きながら子育てをしたいから、だそうである。そんな若い人から見ると、五條市は子育ての面でも遅れており、魅力がないそうである。

若い世代が五條市を離れる理由は、はつきりとしていない。五條市で住んでもらおうと思えば、住んでもらえる環境を整えなければ住んでももらえない。ましてや、移り住んでもらうことなど難しいことである。

市長は所信表明で「本市

の人口は急速な減少局面を迎えており、人口減少対策は喫緊の課題であって、中でも、未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長するとともに、安心して子育てができる社会の構築が必要不可欠である。」と言われていた。五條市の取組は遅れている。困っているお母さんや結婚を機に五條市から引越す若い世代がいる。この現実を市長は一体どう考えるのか、どう対処するのかお尋ねする。

市長 今確かに人口減少と子育て支援というのは大変大事であると十分認識している。総合的な判断の中で、子育てがしやすい環境を作るべくこれからは鋭意努力し、皆さんの意見も反映していきたい。

藤富 朝9時からの学童保育の開始時間を1時間早く8時からにすることを早急



に対処していただきたい。

新庁舎建設における(仮称)にぎわい棟について

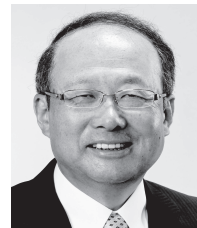
(コンビニの出店について)

藤富 市長は、(仮称)にぎわい棟の建設を提案されているが、(仮称)にぎわい棟にコンビニの出店はできないとのことであった。交渉経緯とその条件についてお尋ねする。

都市整備部長 借地料等の免除による場所の無償提供で大手コンビニチェーンと交渉してきたが、短い営業時間、絶対的な利用客数の少なさ、立地条件が不利である等の理由で出店の可能性は低いと判断している。

藤富 新庁舎建設地の須恵・岡口地区の高齢化率は、51.76%と大塔地区に次いで2番目に高く、日頃の買物に不自由しているとの声を多くの皆さんから伺っている。

「出店の可能性が低い」ということは、100%ダメではないと理解した。熱意をもつて、今一度も、二度をもと交渉していただきたい。



岩本 孝議員

有害獣対策について

岩本 私がテーマとして取り組んでいる有害鳥獣対策について、平成30年度の有害獣の捕獲数をお尋ねする。

産業環境部長 イノシシ1、

480頭、鹿451頭、アライグマ215頭、合計2、

146頭捕獲、平成29年度より24頭多く捕獲した。

岩本 有害鳥獣からの被害軽減には捕獲と防護が必要であるが、平成30年度防護

柵事業の実績をお尋ねする。

産業環境部長 平成30年度は、63団体、延長78km、事業費9千392万円の整備

を実施し、平成22年度からの9年間の実績は、369

団体、延長430km。事業費5億2千19万円の整備を

実施した。

岩本 今年度の鳥獣被害防止対策事業の計画をお尋ねする。

産業環境部長 国・県からの補助配分額は、電気柵設置等ハード事業分として1

億1千3百万円、捕獲支援

等ソフト事業分で1千3百万円の内示であり、その範囲内で計画し、実施してま

岩本 国から県への補助金の何%になるかお尋ねする。

産業環境部長 国から県への補助金の配分が2億2千

194万円、五條市への配分率は約57%となっている。

岩本 有害獣の被害を減らすには捕獲が必要である。

今年度のハンターの育成についてお尋ねする。

産業環境部長 アライグマ捕獲従事者講習会において

平成30年度は50名が受講し、令和元年度も6月に実施す

る。平成30年度の狩猟免許の取得者数は8名(罨8、

銃2)。平成30年度の五條市狩猟登録者数は、第1種

で41件、罨で78件の合計119件となる。

岩本 ハンターの平均年齢が高齢化している。五條市

森林組合での被害は主に鹿であるが、組合には若い職員が多く、猟銃免許を取得

し対応することである。市の農林政策課と森林組合で調整をしてハンターが増えることを願います。

また、平成30年度にジビエール五條で食肉として加

工、市場へ流通したイノシシ、鹿の頭数をお尋ねする。

産業環境部長 市が管理する檻等で捕獲した総数が7

88頭で、その内イノシシ625頭捕獲、流通は32

3頭、搬入率は51.7%、鹿は163頭捕獲、流通は

142頭。搬入率は87.1%であった。

岩本 イノシシの搬入率が悪いがその要因をお尋ねする。

産業環境部長 野生獣を取り扱うので、食の安全のため全頭検査を実施した結果

の搬入率である。

岩本 豚コレラの影響はないのかお尋ねする。

産業環境部長 ジビエール五條は、衛生管理・運営基準ガイドラインにより安全

基準を、搬入時・運搬時・

処理時・加工時ごとに設け、トレーサビリティも徹底しており、現在、豚コレラの感染はない。

岩本 ジビエール五條の販売状況についてお尋ねする。

産業環境部長 平成30年度は、イノシシ精肉660万円、鹿精肉160万円、ジ

ビエール270万円、くん製肉が90万円である。令和元年度は、更に新商品の

開発に取り組んでいきたい。また、令和元年5月末時点の取引先は127件であ

る。

各種検診について

岩本 がんから自分の命を守るためには、検診が一番

大事である。今後の受診率向上の取組をお尋ねする。

すこやか市民部長 周知啓発として、広報及び自治会

回覧、イベント等での周知

等を行っており、さらに、今年度県内の市で初めて、

全国健康保険協会の特定健診と併せてがん検診が受診できる取組を始めた。

Q: 有害獣対策について

A: 今年度は国から県への補助金合計1億2千6百万円の範囲内で計画し、実施してまいる。

Q: 観光資源の整備や歴史の掘り起こしについて

A: ウォークマップの作成を行っているが、新たな観光資源について調査・検討してまいります。



養田全康議員

ふるさと納税について

養田 数年前は納税額が少額であったが、ここ数年は市職員の取組で大きく納税額が増えている傾向にある。

しかし、平成30年度は前年度に比べ2千万円程度減少している。その要因について、また、納税していただいたお金は使用用途を定めて使っているのかを伺う。

市長公室長 総務省の通知で返礼品の寄付額の3割を超えないことを指導しているが、他の自治体では従わない自治体もあり、返礼が多いところに集中したことが要因であり、また皆様からいただいた寄付金は、6種類の指定使用別の一般財源として充当している。

養田 一般財源のランニングコストに入れてしまうのではなく、全国の自治体には、使用施策を決め納税を促す取組がある。今後、本市でも検討をしていただきたい。

五條市の観光と地域の特色について

養田 奈良県にも本市にも多くの歴史的な観光がでできる場所がある。世界遺産や国宝もあるが、まだまだ地域には掘り起こせる観光名所があると考える。宇野町でも世界遺産葦山反射炉、大和源氏のルーツになつている場所がある。

また、豊かな自然を取り入れ、大塔町や西吉野町で民間企業と連携しキャンプ場等の整備が検討可能かどうか、今後の整備や歴史の掘り起こしは可能かを伺う。

産業環境部長 本市には創建1,300年を迎えた榮山寺をはじめ、多くの歴史遺産がある。平成28年から掘り起こしを行い、ウォークマップの作成をしている。また、ウォークマップ以外にも榮山寺の近隣には大和源氏宇野氏の氏神とされる宇野神社や宇野城があったとされる場所がある。それらが新たな観光資源になるかどうか、またキャンプ

場についても調査・検討してまいります。

地域の防災力強化について

養田 自主防災会の防災倉庫の管理は地域の方が行っていると思うが、市としての管理確認について、また、自主防災会の活動状況や補助について伺う。

危機管理監 防災倉庫の管理確認は年数回行っている。自主防災会は23地区あり、18地区に補助金を支給している。

養田 自主防災会に関しては、地域防災の要となる組織にあり、近年の災害状況をみると、地域の防災意識を高める必要があると思う。今後、市の積極的な活動促進をお願いする。

地域公共交通について

養田 現在の取組では、一部の学生の帰りの便に支障が生じており、ホームルームや部活動を早めに切り上げないとバスに乗れない生徒が出てくる。また、一部地域では定期便がなく、近

隣バス停までかなりの距離を徒歩で行かないといけない場所がある。高齢者には大変つらく、近隣ではデマンドタクシーが活用されているため不公平感がある。これらの改善はどのようにしていくかを伺う。

市長公室長 一部路線において校時とあわない事例が発生している。通学で利用する児童・生徒が支障なく利用できるのが望ましいと考える。

ダイヤ改正について、全体の利用を考慮して必要に応じ地域公共交通会議で協議し、また、交通空白地域は今なお充実していない地域があり、不便を感じる市民がおられることは認識している。今までの運行形態にとらわれず、研究と創意工夫に努め、ワーキング会議等で協議する。

その他の一般質問

- 1 五條市が管理する公園について
- 2 学校適正化について